第１号様式

市民との意見交換会・報告書

開催地区：一箕地区	開催日時：令和６年11月12日（火）　18時30分　～　20時10分
担当班　：第１班（出席議員）大竹俊哉、笹内直幸、長谷川純一、大山享子、松崎新	
開催場所：一箕公民館	
参加人数：男性　８名、女性　５名、合計　13名	

会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など

１．意見交換の総括

⑴　議会報告、市政全般についての総括

①　９月定例会議について

特になし。

②　市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について

民地の駐車場付近から出る漏水への対策について、複数回の訴えがあったが解決していない。当事者と話し合いを行い、納得はしていただけなかったが、理解していただけた。

⑵　地区別テーマについての総括

①　地区別テーマ

「地域づくりについて」

②　テーマ設定の理由、背景

一箕地区で一箕地区ひとみ創造ネットワークが設立され、まちづくりが行われているためテーマとして設定した。

③　主な地域課題

農業従事者が一箕地区で営農するため、アイヅライスの作付けを希望しているが、叶えることが困難となっている。

会津若松市議会議長　様

令和6年12月17日　　会津若松市議会市民との意見交換会実施要領第２項第11号の規定により提出します。

予算決算委員会委員長　　大竹　俊哉

意見交換会第１班　　代表者　大竹　俊哉

○　議会報告（定例会など）、市政全般（市政・議会運営に関する意見交換）について

※分類　●議会に関するもの　○市政に関するもの
※番号　①回答（処理）済　②ご意見として伺った事項（含む情報提供）　③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
ヨークベニマル一箕町店西側に公園ができたが、子どもたちが遊ぶ遊具などが設置されていない。例えば、砂場があるだけでも小さい子どもは遊ぶことができる。子どもが安心して遊べる公園になっていない。また、公園の有効活用についても要望する。	扇町土地区画整備事業が終了したが、その事業で計画されていた、地区内の15の公園整備は、順次進められている。ご意見のあった公園については、扇町４号公園だが、予算の関係で全ての公園を一斉に整備するのは困難であるため、順番に整備している。子どもの成長は早いので、なるべく早く公園で元気に遊ばせたいということは理解できるが、もう少しお待ちいただきたい。	○	①		公園
藤原地区のごみステーション設置について、私の家の周辺には高齢者が多く住んでいるが、ごみステーションまでの道のりを休みながら、重いごみを運ぶ高齢者もいる。扇町４号公園ができる前はごみステーションが近くにあったが、廃止された。ごみステーション設置の要望を出したが、規則で設置できないと回答があった。 もっと高齢者に優しくしていただきたい。近所の方々とは、近くにごみステーションが増設されると、少し楽になるのではないかと話している。	ごみステーション設置は、もう少し住民の意向に寄り添って考えてほしいとのご意見だと思う。 ごみステーションについては、そこに住む皆さんで話し合い、町内会の役員と協議をして、ごみステーションを市に要望すれば認めることになると認識している。ぜひ町内会長や役員に話をしてほしい。	○	①		地域社会
ごみ減量化についての出前講座の申込方法に問題がある。キエーロについての出前講座を電話で申込みしようとしたところ、電話では受付できないため、文書で申込みしてほしいと案内された。これはまさにお役所仕事だと思う。結局、出前講座の申込みをやめたが、この対応は改善すべきである。 また、ごみ減量化に向けて本気で取り組んでいるのか疑問に思う。市の覚悟が伝わってこない。	ごみ減量化に向けての取組を説明させてほしい。ごみ減量化への取組の一つとして、キエーロに生ごみを入れ、家庭の生ごみを減らす取組をしている。 また、事業系ごみの減量化に向け、飲食店を中心に減量化のお願いと、宴席で生ごみを減らすため開始して30分間と終了前10分間（30・10運動）は、自席で食べていただく取組をお願いしている。 さらに、ごみ減量化への理解を求めるため、区長会を通して各町内会に職員を派遣している。	○	①		環境

○　議会報告（定例会など）、市政全般（市政・議会運営に関する意見交換）について

※分類　●議会に関するもの　○市政に関するもの
※番号　①回答（処理）済　②ご意見として伺った事項（含む情報提供）　③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
飯盛山の参道付近にある駐車場の地面から漏れ出した水の処理について、市民との意見交換会で過去２回課題があると発言してきたが、現在も解決していない。土地の所有者に連絡をしたが解決しない。冬期間は歩道にも薄い氷が張り、足を滑らせる方がいる。議会で取り上げていただけないのか。	地下水が漏れているのは民地である。この問題について、議会にどうしてほしいのか。	○	②		地域社会
飯盛山の参道付近にある駐車場の地面から漏れ出した水の処理問題を解決していただきたいので、直接議会から土地所有者に伝えてほしい。 この意見交換会の報告書に記載していただければよい。	議会としては、このような件について市民や事業者に対して伝えることに限界があることを理解してほしい。 議会としては、第30回市民との意見交換会（一箕地区）において、過去２回も含め、飯盛山の参道付近の駐車場の地面から漏れ出した水について、近隣住民が大変迷惑し、処理に困っているという意見があったことを報告書に記載する。	○	①		地域社会

○　地区別テーマでの意見交換について　　→　地域づくりについて

※分類　●議会に関するもの　○市政に関するもの
※番号　①回答(処理)済　②ご意見として伺った事項(含む情報提供)　③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
	一箕地区のテーマを「地域づくりについて」にさせていただいた。 地域運営組織である一箕地区ひとみ創造ネットワークが設立され、一箕地区まちづくりワークショップが今日までに５回開催されている。第４回目には、本日参加している２名の議員が参加し、どのように活動しているのか知ることができた。今後は、出された意見を基に地域づくりビジョンの作成が行われる予定とのこと。 本日は、どのように組織が作られ、どのような話し合いをしているのか教えていただきたい。			
一箕地区ひとみ創造ネットワークを５月30日に設立した。その後、毎月１回程度の頻度で会議を開催している。 組織の主体として、一箕地区文化祭実行委員会などの各種団体の方々に呼び掛け、町内会の方々にも参加を募集した。一箕地区は、地域活動が活発に行われている。 一つの例として、最近開催した文化祭は、実行委員会方式で運営され、約200名が参加した。メンバーにも恵まれ、楽しく運営している。 会議では、一箕地区の将来について参加者の思いや要望、意見などを話し合ってきた。その中では、将来への思いや現在の課題、問題が出されている。会議には、毎回約40名参加していただいている。	会津若松市では、各地区で地域づくりが行われている。うまくいっているところと、課題問題を多く抱えているところがあるようだ。一箕地区では、今後まちづくりの計画である地域づくりビジョンが作成されると聞いている。一箕地区の歴史や伝統、文化を大事にしながら、今後どのような方向性で活動されるのか教えてほしい。	○	②	

○　地区別テーマでの意見交換について　　→　地域づくりについて

※分類　●議会に関するもの　○市政に関するもの
※番号　①回答(処理)済　②ご意見として伺った事項(含む情報提供)　③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
一箕地区には大塚山古墳を含めた長い歴史があり、観光地である飯盛山がある。また、小学校が２校、中学校が１校、高校は県立と私立があり、公立大学法人の会津大学がある。そして、人口は約２万人で会津若松市の中で1番住みやすい。今後も、安全、安心な町であればよいと願う。	ご意見として伺う。	○	②	
安全、安心に関連して、会津若松市区長会が開催した仙台市の防災活動と白石市の活動の研修会に参加した。 特に、仙台市は防災意識が高いと感じた。災害対策本部の構成には、行政や消防をはじめとした関係機関だけでなく、町内会関係者も入っている。その中に必ず女性を入れること、女性の意見を聞き取り、活動に生かすことが大事だと強調されていた。こうした研修会で出された意見をまちづくりに生かしたいと思う。	住みやすいまちづくりをしたい、安全、安心なまちを目指したい。とのことだが、もう少し具体的にどのようなことをしたいのかお聞きしたい。	○	②	
私の地域づくりビジョンに対する思いは、安心、安全に暮らせる一箕町を目指すこと。そのためにＩＣＴを活用し、ＩＣＴでつながる一箕町をつくりたい。 例えば、携帯電話やタブレット・ＰＣ、そしてＳＮＳを利用すること。情報発信することで、つながりが広がっていくと考える。さらに、地域の方々に必要な情報を届けることもできる。	湊地区と大戸地区には、ＩＣＴを使った情報網ツールが導入されている。テレビやタブレット・ＰＣを利用した取組として、健康や地域行事の情報発信、その後の映像や写真の記録を見ることが可能。こうした取組が各地に広がると良いと考える。	○	②	
一箕地区では、高齢者を対象にスマートフォン教室を開催した。情報を得るための道具として、スマートフォンを使えるだけでも活動の幅が広がる。そうした地区になってほしい、そうした事例を地域づくりビジョンに入れていきたい。	安全、安心な地区をつくるためにデジタルを活用すること、それが可能であるとのご意見だった。	○	②	

○　地区別テーマでの意見交換について　　→　地域づくりについて

※分類　●議会に関するもの　○市政に関するもの
※番号　①回答(処理)済　②ご意見として伺った事項(含む情報提供)　③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
一箕地区ひとみ創造ネットワークのワークショップを５回開催し、現在まとめの段階になっている。これまで出された意見では、一箕地区の地形の特徴である標高差について、会津若松駅付近は海抜約200メートル、金堀地区は約350メートルあり、移動手段や自然環境が異なることが課題、問題として挙げられている。 最近、鳥獣被害について話していたが、熊や猪からの被害もある。子どもたちの通学路にも関係あるので、専門家を呼んで会議を開催した。 また、役員体制も課題で、56ある町内会のうち、１、２年で区長が変わる町内会もあり、数年間継続している町内会もある。毎年役員が変われば、一箕地区全体でどのような事業が進んでいるのか分からなくなる。 今後については、役員体制も含め、地区の中での課題解決に向けて取り組んでいく。	ご意見として伺う。	○	②	
一箕地区の自然豊かな田舎が好きで、特に山が近くにあることから山々を廻っている。東北地方では珍しく、一箕地区の山中に役行者（えんのぎょうじゃ）がある。自然豊かで一流の田舎であると感じている。こうした環境を整備することで観光資源になるのではないかと考える。	ご意見として伺う。	○	②	
一箕地区の山は、山菜の宝庫。山は人間が整備しないと山菜やキノコがだめになる。山を大事にすることは、大切なことだと思う。	ご意見として伺う。	○	②	

○　地区別テーマでの意見交換について　　→　地域づくりについて

※分類　●議会に関するもの　○市政に関するもの
※番号　①回答(処理)済　②ご意見として伺った事項(含む情報提供)　③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
一箕地区には大塚山古墳があるので、教育旅行として誘致できないかと考える。私たちの時代の修学旅行は、観光旅行がメインだったが、現在は会津若松市に来る前に調べ学習を行い、現地でグループ学習をしている。大塚山古墳には大きな可能性がある。	一箕地区でまちづくりを進めていこうとする思いが理解できた。行政主導ではなく、皆さんが主導して地域づくりビジョンを丁寧に作ろうとしていると思う。今後も期待したい。	○	②	
観光客の入口は、一箕地区が担っていると考える。バスで来る方は磐梯河東インターチェンジで降り、一箕地区を通り、町の中心部に移動する。同じようなルートを通れば交通渋滞になるため、会津若松インターチェンジで降りた別ルートで回ることを提案したい。	まだ発言されてない方もいるが、地域づくりビジョンの関係で発言したいことがあれば、お聞きしたい。	○	②	
私は、一箕町の特に坂道を利用したイベントの開催を考えている。交流人口を増やすために、例えば旧滝沢峠を利用した自転車の大会開催を考えている。自転車は、いわゆるママチャリでもよい。全国から参加者を募集する等により、面白い企画になると思っている。	旧滝沢峠は、会津藩が参勤交代で利用した街道だった。坂道を利用するのは面白い。やりたいことを皆さんから出していただき、様々な企画を取り上げることもよい手法だと思う。	○	②	
私は、会津の農業を考えないといけないと思う。全国で同様の農業ではなく、会津の農業をつくっていきたい。 アイズライスの栽培面積が増えていないため、アイヅライスを作付けしたいと希望したが、定員オーバーで断られた。定員制であるとは知らなかったので、担当課に確認してもだめだった。アイヅライスの作付けを希望してもできないとなると、一箕地区でどのような農業をしていけばよいのか考えさせられる。	私は門田町で農業をしている。アイヅライスは規定の数値をクリアすればよいはずだ。 議会の所管委員会では、アイヅライスの普及促進が広まらない要因について協議している。現在のままでは課題、問題が残ったままだ。議会の中で是正に向けて取り上げる。地球規模でいえば、農業は本当に面白い。一箕地区の農家の皆さんと農業の可能性について協議をして、まちづくりに生かしたい。	○	②	